

●1分で見える世界景気／2018年11月末から見た2018年12月動向

※米中間選挙は「ねじれ議会」で現状継続見通し。米中貿易戦争、米利上げ、地政学リスクが入混じり景気指標が小刻み上下を繰り返す巡航景気がしばらくは続きそうだ。

欧
州

英国/離脱協定案 英国政府、EUで合意、英国議会承認が難関

- ・ドイツ/与党への失望で、メルケル首相への求心力揺らぐ
- ・イタリア/2019年予算案修正をめぐりEUと対立
- ・フランス/マクロン政権批判の大規模デモ発生

EU ・18年7-9月GDP前期比+0.6% (年換算) で4-6月 (同+1.8%) から減速

欧州中銀

- ・金融緩和10月縮小、年内打ち切り
- ・19年は利上げも視野へ

新興国 2極化

- 東南アジア主要6カ国9月新車販売台数+3% (前年同月比) で減速、マレーシアの新税導入の反動、但しベトナム+19%、インドネシア+6%、タイ+14%と好調
- ブラジル/新大統領に期待感、株好調
- アルゼンチン/10月自動車販売台数▲38.5% (前年同月比)
- トルコ/インフレ率は年率25%

中国

米中貿易摩擦

& 経済改革

- ・10月PMI (製造業購買担当者景気指数) は+50.2 (前月比▲0.6)
- ・10月新車販売台数▲11.7%
- ・10月小売売上高は前年同月比+8.6% (9月より0.6ポイント減速)

・米中との貿易対立の影響が景気見通し、購買行動に出始めているようだ

トランプ政権

米国

中間選挙後のねじれ議会 (上下院で多数派が異なる)

経済政策は現状路線継続 (減税&規制緩和)

地政学 & **米中貿易摩擦**

高成長持続しつつもやや減速

10月雇用+25.0万人、失業率3.7%

10月新車販売台数+0.6% (前年同月比)

10月中古住宅販売件数+1.35% (前月比)

10月消費者物価指数+2.5% (前年同月比)

FRB/11月利上げ見送り、12月利上げを示唆

日本

地政学 & 貿易関税 & 災害リスク

- ・7-9月GDP▲1.2% (年率換算)
- ※ 災害の影響 ※ 住宅は+0.6%
- ※ 10-12月はプラス回帰の予想
- ※ 10月訪日客+1.8% (前年同月比)

● **日銀** 2%物価目標達成時期まで金融緩和継続

- ① フォワードガイダンスの導入
- ② 短期金利 (-0.1%)、長期金利を0%へ誘導
- ③ 長期金利変動幅は従来の±0.1%から±0.2%を念頭に
- ③ 長期国債、ETF、J-REITの買い入れは柔軟に

緩和マネー